

キャリア教育を取り入れた 3 年生ホームルーム活動の実施

渡 辺 誠 一*

Execution of Homeroom Activities for Third Grade Students Including Career Education

WATANABE Seiichi

キーワード：特別活動，ホームルーム活動，キャリア教育，進路指導，技術者倫理

1. ま え が き

近年、学生の就職活動が長期にわたるようになってきた。これは、景気低迷に伴い年々求人数が減少していることや、就職活動の早期化に学生が追いついていないため不採用となるケースが増えてきたことなどが原因として考えられる。前者については、学校側が企業に求人を出してもらえよう積極的に働き掛けることにより求人数を若干回復させることができるが、景気動向が改善しない限り求人は厳しい状況が続くと思われる。後者については、学生に対して早期から面接対策や適性検査対策を行うことで内定率を上げることが可能である。

高専本科卒業後の進路は、大学、高専専攻科、専門学校への進学や、民間企業や国や地方自治体などへの就職など、多岐にわたっている。高専は 5 年間という長い間で進路を考えることが可能であるが、4 年の冬季休業後から進路を考え出している学生も見受けられる。このような状況では就職活動や受験勉強が間に合わない状況が予想されるため、早期から常に自分の将来に興味を持たせることが大切であると考えられる。早期に自分の将来の目標を設定することができれば、就職活動や受験対策に力を入れることができるだけでなく、日頃から行っている学習への意欲が向上することが期待される。

キャリア教育とは、中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について（平成 11 年 12 月 16 日）」において、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」と定義されている¹⁾。

* 電気電子工学科准教授

原稿受付 2012 年 5 月 18 日

これを受けて、中学校や高等学校においてもキャリア教育が実施されつつあり、大学においては教育課程の中にキャリア教育に関する授業を入れて実施している例もある²⁾。

ほとんどの高専は技術者教育を実施する中で、随時キャリア教育を行っている。中には、本科 1 年次からキャリア教育を実践する取り組みも報告されている^{3) 4)}。本校においては、本科 4 年生を対象とする実務訓練⁵⁾、本科 4 年生と専攻科 1 年生を対象に外部講師による就職面接指導、5 年生が 4 年生に対して進路に関するアドバイスをを行う取り組み⁶⁾、進路支援システム cosmos3 による進路情報の提供⁷⁾、キャリアコンサルタントによる面接指導などが行われているが、全学年を通じたキャリア教育や、教育課程の中でキャリア教育は実施されていない。

そこで、筆者は特別活動の 1 つであるホームルーム活動の時間を活用して、3 年生の特別研修の研修内容⁸⁾から継続してキャリア教育を実施した。また、ホームルーム活動ではキャリア教育以外にも、技術者倫理やハラスメント防止に関する内容も取り上げた。本論文では、平成 23 年度の電気電子工学科 3 年生を対象としたホームルーム活動の実施内容と実施後のアンケート結果について述べる。

2. ホームルーム活動実施日と内容

高等学校学習指導要領では、「ホームルーム活動においては、学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として、ホームルームや学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。」を求めている⁹⁾。ホームルーム活動では「ホームルームや学校の生活の充実と向上に関すること」「個人及び

社会の一員としての在り方生き方、健康や安全に関すること」「学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること」の3項目について具体的に事例を挙げて実施を求めている⁹⁾。

表1にホームルーム活動の実施内容について示した。活動は45分の時間で30週実施した。中には時間を超過して90分実施した内容もあった。「生と性の講習会」、「海外インターンシップ講演会」、「防災訓練」の計4回については3学年全体での行事、「4年生実務訓練報告会」は電気電子工学科4年生との合同行事で、それ以外の計25回はクラス単独で実施した。クラス単独で実施する内容については、3年生は高等学校課程に相当する学年であることから、できるだけ高等学校学習指導要領に準じた内容となるよう配慮した。

3. ホームルーム活動の実施内容の詳細

実施した30回の中で、主な実施内容についての詳細について述べる。

3-1 特別研修（3, 4回目）

4月21日・22日に長野県須坂青年の家で1泊2日の特別研修を実施した⁸⁾。研修では自己紹介、パスタブリッジコンテスト¹⁰⁾、特別講演、スポーツ大会を実施した。特別講演では、「創造するチカラ」と題して、技術と社会が深く結びついていることが理解できるような内容を含めた商標やビジョンに関する講演と、グループワークが行われた。グループワークでは、学生は5~6名のグループを作り、従来ある製品の問題点、新たに開発した製品の優れている点、新製品のキャッチコピー（商品名）を考える創造体験などを行った。

3-2 自他の理解能力を知る（6回目）

将来の進路を考えるに当たっては自己理解が必要であることから、事前に高専に入学した理由や夢などの記述を求める自他の理解能力を知るためのワークシート¹¹⁾を配布して記入してもらった後、6~7名のグループで発表し合った⁸⁾。

3-3 キャリアプランの作成（7回目）

図1に計画実行能力を把握するためのワークシート（キャリアプランのワークシート）を示した¹²⁾。現在（18歳）から定年の頃（60歳以降）までの仕事の様子と生活の様子に関して、進学、就職、結婚などのライフイベントを記入してもらった。これにより、自分の将来の再確認と将来計画の作成能力を

表1 ホームルーム活動の実施内容

回	月/日	内 容
1	4/11	学生会の役員決定 特別研修の部屋割、レクレーション決定
2	4/18	特別研修の内容確認（しおり説明） 席替え
3,4	4/21 ~22	特別研修（21日午後~22日終日） 【長野県須坂青年の家】
5	5/2	特別研修の反省（アンケート） 特別研修講師から依頼のアンケート 工嶺祭クラス展示のテーマ決め
6	5/16	自他の理解能力を知る（グループワーク） ~夢・やってみたい仕事・興味がある仕事~
7	5/30	キャリアプランの作成（個人ワーク） 工嶺祭クラス展示のテーマ決め
8	6/6	授業中の内職について ノートの取り方について
9	6/13	「生と性の講習会」聴講【100番教室】
10	6/20	勉強の仕方について 『或日のつぶやき』（相田みつを作）英訳
11	6/27	5年生の進路状況について
12	7/4	前期中間試験成績の配布 個人面談の実施について 工嶺祭クラス展示の内容決め
13	7/11	大学のオープンキャンパスの紹介 工嶺祭クラス展示の内容決め
14	7/13	「海外インターンシップ講演会」聴講 【100番教室】
15	9/12	夏休みの反省 避難訓練について 工嶺祭クラス展示の内容決め
16	10/3	防災訓練【中庭】
17	10/17	後期の生活指導 「高校生夢ファイル」アンケート
18	11/2	「4年生実務訓練報告会」聴講【100番教室】
19	11/7	企業現場見学の見学先の概要説明
20	11/14	企業現場見学の反省（アンケート） 資格試験に関するアンケート
21	11/21	進路支援システム cosmos3 の利用法
22	11/28	進路について考える（進学、就職） 進路支援室の紹介
23	12/5	就職について考える ~大卒者の就職状況、業界地図~
24	12/19	冬期休業の過ごし方 学習到達度試験対策 Web 教材の紹介
25	1/10	1-3月の行事説明 悪質商法について考える
26	1/16	自己分析（個人ワーク） ~理想の社会人について考える~
27	1/23	ハラスメントについて考える（個人ワーク） ~セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメント、パワーハラスメントなど~
28	1/30	インターンシップについて考える （個人ワーク） 24年度電気系資格試験の紹介
29	2/6	技術者倫理について考える（個人ワーク） ~2つの事故例から学ぶ~
30	2/13	自己評価シートの記入 （23年度の反省）

身につけることを狙ったが、詳細に書けた学生は僅かであった。このことから、3年生の段階では将来設計能力があまり備わっていないことがわかった。

3-4 5年生の進路状況について（11回目）

5年生の現時点での進路状況、前年度の卒業生の進路状況を映像資料で説明した。教室に過去10年間の進路状況の表を掲示した結果、その後、就職および進学に関する担任への問い合わせが微増した。

3-5 大学のオープンキャンパスの紹介

（13回目）

夏季休業中に大学で開催されるオープンキャンパスの日程について、各大学のホームページに掲載されていた情報を元に、関東甲信越地区にある5大学の情報を案内した。オープンキャンパスへの参加は進学先を決める上で有効な機会であるが、このクラスからの参加者は筆者の知る限りゼロであった。

3-6 「海外インターンシップ講演会」の聴講

（14回目）

3学年全員で、国立高等専門学校機構が主催する海外インターンシップに参加した専攻科生1名の体験記を聴講した。この講演によって、インターンシップの目的と内容を理解するだけでなく、海外の文化を理解することができた。

3-7 「高校生夢ファイル」アンケートの実施

（17回目）

信濃毎日新聞から本校3年生に対して、同社の新聞に掲載している特集記事「高校生夢ファイル」の記事提供依頼があり、ホームルーム活動の時間を利用して、入学の理由や将来の夢などを自由に記述してもらった。電気電子工学科では全員で作成を行った。記事は後日掲載され¹³⁾、教室に写しを掲示した。記事を見た学生の一部から「しっかり将来を考えている人があるんだ」などの感想が寄せられた。

3-8 4年生実務訓練報告会の聴講（18回目）

100番教室で4年生が夏季休業中に実施したインターンシップ（実務訓練）の報告会を聴講した。これにより、1年後に行う実習の心構えや必要なスキル、および県内外の企業でどのような事が行われているかなどについて学んだ。

3-9 企業・現場見学の反省（20回目）

11月10日にエムケー精工株式会社（千曲市）と日置電機株式会社（上田市）、11日に上田日本無線株式会社（上田市）と株式会社ミマキエンジニアリング（東御市）の4箇所の企業を見学した際の反省をアンケート形式で振り返った。学生自身にとって

ワーク2：将来設計能力（計画実行能力）

課題1：あなたは、次における年齢のときにどうなっているでしょうか？下にあげたライフ・イベントを参考に想像してみてください。

年齢	18歳	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	60歳以降
仕事							
生活							

※ライフ・イベント例
進学、就職、留学、結婚、出産、育児、親の介護、昇進、資格取得、退職、転職、起業、など

図1 計画実行能力を把握するワークシート¹²⁾



図2 進路支援システム cosmos3 のログイン画面

どのような業種が向いているのか、どのような会社で働きたいかを考える機会となった。

3-10 進路支援システム cosmos3 の利用法

（21回目）

図2に進路支援システム cosmos3 のログイン画面を示した。進路支援システムでは進学募集情報と求人情報を Web 上で検索することが可能である。将来を考える上での参考資料となることから、システムの操作方法について説明した。

3-11 進路について考える（22回目）

本科5年生の進路状況と進学先および就職先の決め方の一例について紹介した。その後、過去の受験報告書、進学募集要項や求人情報が収められている進路支援室の紹介を行い、施設の利用を促した。

3-12 就職について考える（23回目）

就職先を決定する際には、世の中にはどのような業種があるかを知っておく必要がある。また、業界はどのようになっているかを理解することで、進路選択の幅が広がってくる。ここでは、大学生の就職活動の状況と、電気系企業の業界地図¹⁴⁾、¹⁵⁾について紹介した。

3-1-3 自己分析 (26回目)

図3に自己分析ワークシートを示した。このワークシートは、学級担任や進路指導担当教員が学生の各種推薦状を書くための参考資料とするために学生支援委員会が学級担任を通じて4年生(または5年生)に配布しているものである。

このワークシートを用いて自己の性格を分析した後、10名程度に理想の社会人に備わってほしい性格について発表してもらった。学生からは「誠実である」「ユーモアがある」「実行力がある」「責任感が強い」「礼儀正しい」「気取らず純真である」「仕事をテキパキ処理する」「勤勉である」「勇気がある」「独創性がある」「協調的である」「理論家である」が挙げられた。

3-1-4 インターンシップについて考える (28回目)

図4にインターンシップのワークシートを示した。先ずインターンシップ(実務訓練)のシラバスを用いてインターンシップの目的と意義を説明した。その後、実習先企業が決定するまでの流れ、実習後の報告書の作成および発表会の様子について紹介した。

3-1-5 技術者倫理について考える (29回目)

図5に技術者倫理のワークシートを示した。技術者として働くためには、高い倫理観を持つことが必要である。そこで、日本航空ジャンボ機墜落事故¹⁶⁾と六本木ヒルズ回転ドア¹⁷⁾の事故例を取り上げ、技術者に必要な倫理観が少しでも身につくような機会を設けた。

4. 活動実施後のアンケート結果

ホームルーム活動終了後に、電気電子工学科3年生全員に対して、ホームルーム活動の実施内容および自己評価に関する記名式アンケートを実施した。アンケートは学年末の特別編成授業期間最終日の平成24年3月5日に実施した。回答者数は受講した学生42名中42名(回収率100%)であった。アンケート項目および分析結果は以下の通りである。

4-1 実施内容に関する質問

実施内容に研修全体に関する質問の結果は以下の5項目である。いずれの項目も「良い」「やや良い」と回答する学生が50%以上を占めており、特にインターンシップに関する(3)、(4)で良い評価となった。これは、来年度に学生が実際に行うことから、興味を持って聴講したため高評価となったと考えられる。

自 己 評 価 _____ 氏 名 _____

1. 誠実である	2. 真面目である	3. 勤勉である
4. 努力型である	5. 実行力がある	6. 勇気がある
7. 困難な仕事を試みる	8. 決断力がある	9. 果敢である
10. 自主的判断を持つ	11. 精神的活動的である	12. 温順である
13. 素直である	14. 明朗快活である	15. 楽観的である
16. ユーモアがある	17. 気がきく	18. 独創性がある
19. 慎重である	20. 責任感が強い	21. 正義感が強い
22. 統率力がある	23. 礼儀正しい	24. 親切である
25. 利己的である	26. 気取らず純真である	27. 協調的である
28. 包容力がある	29. 仕事をテキパキ処理する	30. 理論家である
31. 才知型である	32. 思考型である	33. 地味である
34. 実務家である	35. 内攻的である	36. 外向的である
37. 直感的である	38. 情緒的である	39. 率直である
40. 引込み思案である	41. 物静かである	42. 感受性が強い
43. 好奇心が強い	44. 一つのことに熱中する	45. 口数が少ない
46. 弁舌が立つ	47. 世話好きである	48. 大まかなところがある
49. 気が長い	50. 気が短い	51. 自己主張をする
52. 控えめである	53. 従順的である	54. 派手好きである
55. 軽率なところがある	56. 内気である	57. 頑固である
58. 気まぐれである	59. 意志が弱い	60. 負けず嫌いでいる
61. 妥協的でない	62. 孤獨を好む	63. 恥ずかしがりやである
64. 聽命である	65. 反抗的である	66. 優柔不断なところがある
67. 気がきかない	68. 神経質である	69. 自他れが強い
70. 高慢なところがある	71. 寂しがりやである	72. 気が散り易い
73. 人付き合いが悪い		

尺度の上に○を付けて下さい。

臨機にない	指 導 的	あきっぽい	辛抱強い
社交的でない	社 交 的	几帳面でない	几帳面
消 極 的	積 極 的	神 経 質	呑 気
感 情 的	冷 静		

長 _____
所 _____
短 _____
所 _____

次項「私の推薦状」は就職に関する調査表及び自己評価を基にして書くこと。
さらに下記の事を念頭に入れて書くこと。
1. 工場祭 2. 学生会 3. クラブ活動 4. クラスの委員 5. クラスマッチ 6. 趣味
7. 将来の夢・希望 8. 啓蒙・精勤 9. 人助け、ボランティア 10. 資格(電気工士、
情報処理、測量士補) 11. 工業英検、英検 12. 得意な科目・特に興味をもって勉強
していること。

図3 自己分析ワークシート

ワーク：インターンシップ (2012.1.30)

番号 _____ 氏名 _____

課題1：インターンシップとはどのような事でしょうか

課題2：以下の設問について回答して下さい。

【設問1】インターンシップを行ってみたいですか

①行いたい ②やや行いたい ③どちらともいえない ④やや行いたくない ⑤行いたくない

【設問2】設問1で④⑤に丸を付けた人はその理由を書いて下さい

【設問3】もしインターンシップを行うとしたら、不安はありませんか

①不安はない ②やや不安はない ③どちらともいえない ④やや不安がある ⑤不安がある

【設問4】設問3で④⑤に丸を付けた人はその理由を書いて下さい

課題3：やってみたい実習内容について、考えられることを書いてみましょう。

課題4：インターンシップを行うに当たり、どんなスキル(能力)を身につけておいた方が良いと思いますか。考えられることを書いてみましょう。

課題5：今回のホームルームで仲間の話を聞いて感じたことを書いてみましょう。

図4 インターンシップのワークシート

ホームルーム活動の実施内容については、キャリア教育に関するものだけでなく、表1に示したようにハラスメント問題や悪徳商法問題など多岐に実施しているが、実施の継続性に欠けている時期もあり、今後は実施時期について検討していきたい。

(1) 進路に関する内容（進学，就職，cosmos3 利用法など）はどうでしたか

良い	8名(19.0%)
やや良い	16名(38.1%)
どちらとも言えない	18名(42.9%)
やや悪い	0名(0%)
悪い	0名(0%)

(2) 海外インターンシップ講習会の内容はどうでしたか

良い	8名(19.0%)
やや良い	13名(31.0%)
どちらとも言えない	21名(50.0%)
やや悪い	0名(0%)
悪い	0名(0%)

(3) 4年生実務訓練報告会の内容はどうでしたか

良い	18名(42.9%)
やや良い	15名(35.7%)
どちらとも言えない	8名(19.0%)
やや悪い	1名(2.4%)
悪い	0名(0%)

(4) 「インターンシップについて考える」の内容はどうでしたか

良い	12名(28.6%)
やや良い	18名(42.8%)
どちらとも言えない	12名(28.6%)
やや悪い	0名(0%)
悪い	0名(0%)

(5) 「技術者倫理について考える」の内容はどうでしたか

良い	7名(16.7%)
やや良い	15名(35.7%)
どちらとも言えない	19名(45.2%)
やや悪い	1名(2.4%)
悪い	0名(0%)

4-2 自己評価に関する質問

自己評価に関する質問の結果は以下の4項目である。ワークへの取り組み，および年間を通じての取り組みについては「出来た」「やや出来た」と回答する学生より，その他の評価が上回った。これは，ホームルーム活動自体に関心を持っていない学生や，内容自体に興味を持っていない学生が多いと考えられる。今後，学生に興味を持ってもらえるような内容を入学時から計画的に実施する必要がある。

進路支援室および進路支援システム cosmos3 の利用者はともに20%以下であった。進路を決めるまでに時間があることから，利用したい意欲がわかな

ワーク：技術者倫理（2012.2.6）

番号 氏名

課題1：「日本航空ジャンボ機墜落事故」「六本木ヒルズ回転ドア」のうち1つを例に挙げ，事故を防ぐために技術者がしなければならないことについて自由に記述して下さい。

【テーマ名】

【自由記述】

課題2：今回のホームルームで仲間の話を聞いて感じたことを書いてみましょう。

図5 技術者倫理のワークシート

いためだと考えられる。進路支援室およびcosmos3の利用者は本科5年生および専攻科2年生が主であり，全学年に浸透させるかが今後の課題である。

(1) ワーク（自己分析，理想の社会人，ハラスメント，インターンシップ，技術者倫理など）について積極的に取り組むことが出来ましたが

出来た	4名(9.5%)
やや出来た	15名(35.7%)
どちらとも言えない	19名(45.3%)
やや出来なかった	4名(9.5%)
出来なかった	0名(0%)

(2) 1年間を通じてホームルーム活動に積極的に取り組むことが出来ましたが

出来た	4名(9.5%)
やや出来た	14名(33.3%)
どちらとも言えない	18名(42.9%)
やや出来なかった	5名(11.9%)
出来なかった	1名(2.4%)

(3) 進路支援室を利用しましたか

利用した	8名(19.0%)
利用していない	34名(81.0%)

(4) 進路支援システム cosmos3 を利用しましたか

利用した	6名(14.3%)
利用していない	36名(85.7%)

5. あとがき

本論文では、平成 23 年度の電気電子工学科 3 年生を対象としたホームルーム活動の実施内容と実施後のアンケート結果について述べた。ホームルーム活動終了後のアンケート結果より、内容に関して学生は概ね良好の感想を持っていることがわかった。その半面、自己評価においては積極的に取り組めた学生が 50%に達成しなかったことから、今後、学生に興味を持ってもらえるような内容を実施する必要があると考えられる。

参 考 文 献

- 1) 宮崎冴子：キャリア教育 理論と実践・評価，雇用問題研究会，p.195（1997.11）
- 2) 文献 1) の pp.167-181
- 3) 畔田博文，定村誠，宮重徹也：高専教育における低学年からのキャリア教育の重要性とその取り組み，平成 23 年度高専教育研究活動発表概要集，O-94（2011.8）
- 4) 梅野善雄，平野耕一，津田大樹，松浦千春，山中将，佐藤陽悦，下川理英，中川裕子：一関高専における卒研室見学を取り入れたキャリア教育ガイダンス，論文集「高専教育」，No.35，pp.467-470（2012.3）
- 5) 渡辺誠一：長野高専電気電子工学科におけるインターンシップの必修選択化，電気学会教育フロンティア研究会資料，FIE-09-15，pp.71-74（2009.3）
- 6) 鈴木宏，古川万寿夫：学生をアドバイザーとした進路相談会，平成 23 年度高専教育研究活動発表概要集，O-75（2011.8）
- 7) 渡辺誠一，戸谷順信，鈴木宏：進路支援システム「cosmosⅢ」の開発，平成 21 年度高専教育講演論文集，pp.275-276（2009.8）
- 8) 渡辺誠一：キャリア教育を意識した 3 年生特別研修の実施，長野工業高等専門学校紀要，No.35，2-3，pp.1-8（2011.6）
- 9) 文部科学省：高等学校学習指導要領，平成 11 年 3 月告示・平成 15 年 12 月一部改正
- 10) 泉聡志監修：パスタで橋を作ろう，理科教育ニュース，少年写真新聞社，No.729（2008.8）
- 11) 日本進路指導協会編：キャリア教育 Q&A ワーク 中学校編，明治図書，pp.38-39（2008.8）
- 12) 文献 10) の pp.42-43
- 13) 信濃毎日新聞：ステップ！高校生夢ファイル 国立長野高専，平成 23 年 11 月 11 日（2011.11）
- 14) 東洋経済新聞社編：会社四季報業界地図 2012，東洋経済新聞社，pp.18-19（2011.9）
- 15) 文献 13) の pp.50-51
- 16) 中村昌允：事故から学ぶ技術者倫理，工業調査会，pp.30-33（2005.4）
- 17) 文献 15) の pp.50-53